

朝霞地区在宅緩和ケア推進ネットワーク 第3回症例検討会 アンケート集計結果

日時: 令和7年3月10日(月)

時間 ■症例検討会/19:00~20:00 ■全体会/20:00~20:30

アンケート集計期間: 3月11日~3月21日

【事例提供者】金井 良晃 先生 (TMGあさか医療センター 緩和ケアセンター長・朝霞地区在宅緩和ケア推進ネットワーク議長)

【テーマ】「全人的にケアするってなに？」

【参加者数】87名

◀内訳▶ ■当日参加者数...◇ネットワーク会員: 55名/220名 (25%)

◇一般: 17名

◇合計: 72名

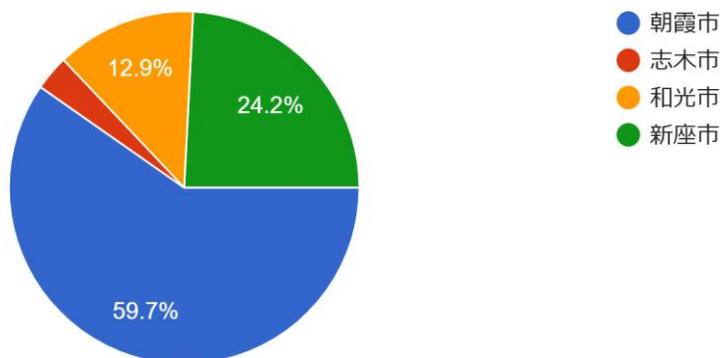
■アーカイブ参加者数...◇ネットワーク会員: 15名 ◇一般: 2名 ◇合計: 15名

※R7.3.26現在

【アンケート回答者数】62名

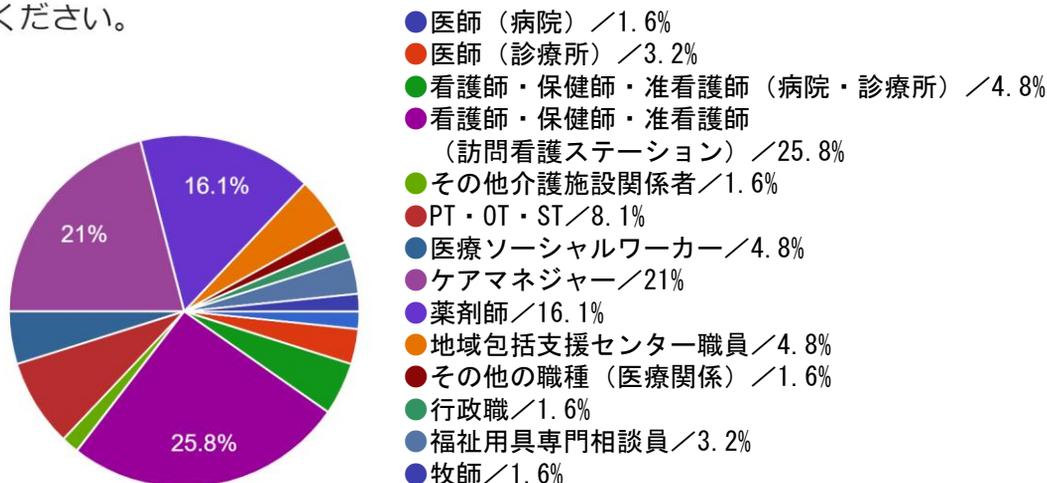
1. 所属の所在地を教えてください。

62件の回答



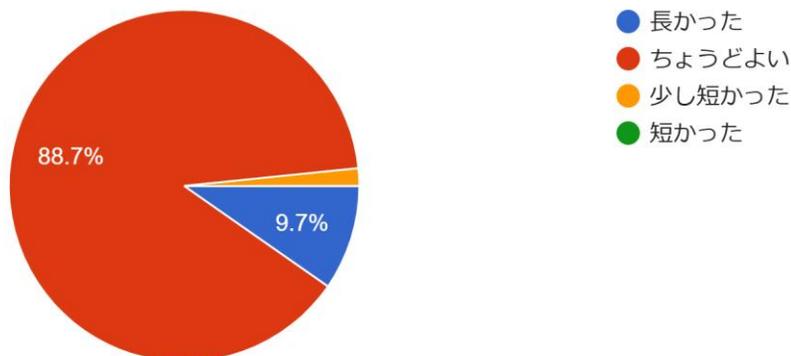
2. 職種を教えてください。

62件の回答



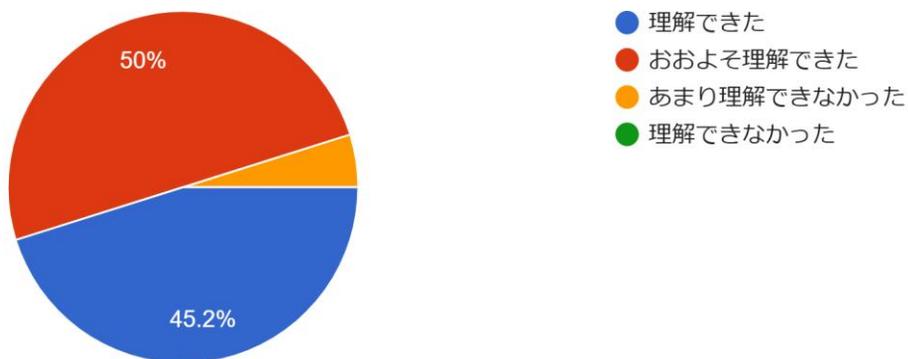
3.症例検討会の時間について（以下の中から最もあてはまるものを選んでください。）

62件の回答



4.【症例1】の内容についてお答えください。

62件の回答

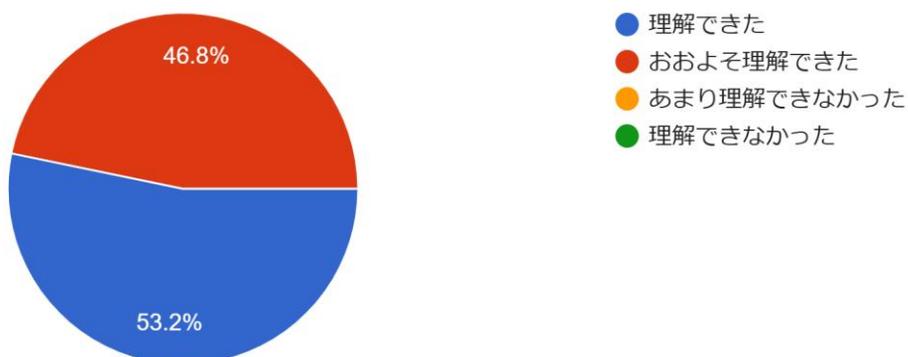


5.【症例1】について、「あまり理解できなかった」、「理解できなかった」と答えた方、具体的に分かりにくかった点がありましたら教えてください。

- ・緊急の連絡が来て、ほぼ話が聞けなかった。
- ・薬の調整方法の中でどのようにケアマネとして医療機関へ相談して良いのか伺いたかったです。
- ・仕事が終わっておらず、視聴がしっかりとできなかったため。

6.【症例2】の内容についてお答えください。

62件の回答



7.【症例2】について「あまり理解できなかった」、「理解できなかった」と答えた方、具体的に分かりにくかった点がありましたら教えてください。
回答なし

8. 症例検討会の全体の感想を教えてください。

- ・50代の方の症例で働き盛りだったり子育て中だったりすれば自分の生き方や死に方などいろいろと思うことは多いと思う。 その中で痛みのコントロールだったり少しでも元気なうちにできることなど（経済的なことなど）の支援のアドバイスができるとまた違った意味で心配なことなどが痛みもあるけれど軽減できるのかなと思いました
- ・全人的ケアは難しくとらえるのではなく、本人家族に寄り添ってケアすること、その中で言葉や想いを拾い上げて支えること。と、より理解できた。
- ・全人的ケアという言葉事態聞きなれず、理解が難しいと感じました。
- ・内容はいつも難しさを感じますが、その分勉強になります。
- ・とても貴重なお話をきけて勉強になっております。
- ・事例に照らし合わせての講義で分かりやすかった。
- ・患者、家族の思いに寄り添えるよう、傾聴していきたいと思います
- ・全人的な支援についてよく理解できていなかったが、症例検討で具体的なお話を聴けたことでイメージしやすくなりました。
- ・全人的ケアという難しいテーマだったにも関わらず、理解しやすい症例検討でした。
- ・全人的ケアを学ぶにはとてもいい症例でわかりやすかったと思います
- ・参加人数も多くわかりやすい症例検討でした
- ・私の全人的ケアの総論や各論(心理的側面とは？ 身体的側面とは？ など)の理解が不十分でした。
- ・全人的ケアという言葉は初めて知りました。大変勉強になりました。
- ・金井先生が丁寧に解説してくださったことで、理解しやすい内容でした。薬剤師として対応していると平気そうに見えるのも患者様がそうしていて、それを見守ることで良いのだと気付かせていただけ大変勉強になりました
- ・ケース1人1人違った対応してきたなあと、あらためてふりかえてみました。また多くの事例を聞きたいとも思いました。
- ・多数の事例に共通する問題をわかりやすく提示して頂いて面白かったです
- ・今までの経験病状説明は医師や看護師がすればいいし、専門職がそれぞれの役割で対応すればよい。と、考えていましたが、患者さんに寄り添うといった観点で係るとしたら、職種云々ではなく対応を求められた人がその人の言葉で寄り添うのが適切なんだと感じました。とても参考になりました。
- ・具体的な状況と、そこに対するケア実際に学ぶことができました
- ・実際にこのような事例を用いて様々な全人的となる価値観の構築をしていきたいと思った。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・包括支援センターだと介護保険の介入時にはかかわるがケアマネに引き継ぐことが多いので、今日の事例のように本人や家族の終末期の最終段階の不安についてきく場面はないが、検討会の中で金井先生がおっしゃっていたアンテナを張ることを常に心がけたい。
- ・全人的なケア、全人的苦痛について、今まで臨床現場で介入時にどのように取り入れていくのか、考え方が浅かったことを反省しました。痛みが取れない、苦痛が取れないとの訴えに対し全人的な視点も加味して多職種との情報共有や処方提案が求められると思いました。今まで、全人的な視点にフォーカスをあてた症例紹介をあまり聞いてこなかったような気がします。症例1ではモルヒネ換算で180mg→60mgと1/3にまで減量されていました。オピオイドスイッチングを行われたのでしょうか？ 段階的に減量されたのでしょうか？

→下記金井先生より回答を頂きました。ご参照下さい。

・少なくないオピオイドを減量する場合、1段階で半分以下にしてしまうと退薬症候につながるので、2/3程度を目安に漸減ください。

今回は便秘も問題視していたので、オキシドロン（オキシコンチン）を経皮フェンタニル（フェントス）に変えて3日ごとに落としました。

内服のオピオイドは、直接腸管のオピオイド受容体にも作用するので、非経口にするとう便秘に良い効果が期待できます。

もちろんオキシドロンのまま漸減することも問題ありません。

疼痛の種類によってオピオイドの種類にも向き不向きがありますが、その辺りは割愛させていただきます。オピオイドを間違いなく減らすべきタイミングは、①痛みがなく眠気が強いとき、②オピオイドを始めた、増やした後で、せん妄が現れたとき、です。

・ケアマネジャーとしての関わりの中で、痛みの訴えやどうにもならない無力感を傾聴する事は多々あります。しかしながら、そこに直接のアプローチをする事は出来ないため、無力感を感じる事は少なくありません。今回の研修を通して、「何を返していいかわからない、終わらせてあげられないことに気後れを感じるべきではない。」という話があり、この言葉に救われる気がしました。そこに踏みとどまり、聴いてあげる事がスピリチュアルケアとの事。上手く出来たかどうかは別として、少なくとも逃げずに踏みとどまってきたことをやってきた自分の今までを認めてあげたいと思いました。

- ・症例検討会は勉強になります
- ・毎回とても勉強になり、今後の業務に役立たせていきたいと思っています。
- ・どの職種でもわかりやすい話なのでとても勉強になります。
- ・対照的な2例、また痛みについての説明を伺い、参考図書を紹介もあり、大変参考になりました。また資料も個別に閲覧できたので、プレゼン中に資料を遡りながら聞いた点が便利でした。グループタイムがあると、一方通行の座学にならなくて理解が深まり良いと思いました。
- ・恥ずかしながら、全人的ケアという言葉は初めて聞きました。「緩和ケア」という言葉は良く聞き、私たち福祉用具もその中の一員として支援させて頂いております。「全人的ケア」とは緩和という言葉より広く、もっと色々な面での苦痛をケアするように感じました。
- ・全人的ケアについて、理解ができた。
- ・事例を通じて考えることができるのでとても良いと思います。聴くことが出来ればゴールとありましたので、訪問先でも今日の学びを活かせたら良いと感じました。
- ・長さも丁度良く回数聞くには負担にならないのが良いと思いました。
- ・とても進め方が完結で分かりやすく、実際に私達が本人や家族と対面し、いろいろと本人から病気のことを聞いたり、あまり聞いてはいけないような、本人と家族のやりとりを聞いてしまった時、どう対処したらよいか迷うことが多々あり、先生のお話を聞いて、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・緩和ケアといっても同じ症例はないと思うので、検討会で、様々な症例について聞くことができとても勉強になります。対応として何が正解か難しいが、視野を広く持ち傾聴していきたいと思いました。
- ・本人やご家族それぞれで、これからについての気持ちや、抱えている問題があると思います。悩みや不安を打ち明けられた時に共に寄り添い、チームで対応が出来るように、協力させて頂きたいと思っています。
- ・病院に所属しているだけではわからない部分にふれることができ、色々な職種の意見をきくことが出来、多角的視野を持つきっかけになった。
- ・今年、大学病院の病棟を経て訪問看護を立ち上げました。多くのジレンマや関わり方、答えの見えない問題に対して情報共有する大切さと各業種の視点がどの様な物なのか理解することが重要だと思いました。
- ・とても重要な内容だと感じています
- ・具体的にどう、話せば良いかが分かった。
- ・自身の経験に置き換えて考えることができました。今後にも活かしていきたいと思っています。
- ・各事例の経過を簡潔にまとめながら、全人的ケアについて共有できるポイントを学べる内容だったので、大変勉強になりました。
- ・症例でわかりやすかったです
- ・患者様とご家族様の気持ちの揺れに対して求められることなどを察知することや「聞くこと」への姿勢をしっかり持ちたいと感じました。初めに本田さんが感想でお話したようになかなか「全人性」の言葉に馴染みがないので緩和的意味合いやケアについて勉強するきっかけになります。ありがとうございました
- ・全人的ケアというと難しく聞こえますがわかりやすく解説して頂きました。ありがとうございました
- ・事例が非常に赤裸々でわかりやすかったです。在宅療養の利用者の支援は医者や看護師、薬剤師やヘルパー、訪問入浴やマッサージなど様々な職種が訪問することが多いですが、今まであまり考えていなかった、職種としての役割ではなく、利用者にとっての「相談者」としての役割も大切と気づきました。ケアマネの役割は、必ずしも「療養」に直接関係する相談者としてではなく、つかの間病気のことを忘れられるための役割になることも、もしかしたら出来るのかもしれないと、今まで思ってもいなかったもので、新鮮な気づきでした。
- ・とても勉強になります。
- ・全人的ケアについて症例をもとに具体的に聞くことが出来まして大変勉強になりました。実際のケア時に実行できるよう努力していきたいと思っています。
- ・途中から参加のため、アーカイブ配信で内容を拝見いたします。
- ・非常に勉強になりました。死というテーマでそれぞれの考えがあり それぞれの死に対して真摯に向き合っていくのは大変です。医療資源的にも精神的にも経済的にもほんとうに大きなテーマです。ACPの取り組みも、宗教的な支えなども必要なことなのだと感じました。
- ・難しいテーマでしたが継時経過と評価と所見からと合わせてわかりやすかったです

9. 症例検討会の運営について、ご意見やご要望がありましたら教えてください。

- ・症例を①事例にして、グループワークなどで話せると参加している人と関わることができやすいと感じました。地域で緩和にケアについて学び会うためには他職種で話す事も必要と思いました。
- ・みなさんに感謝です。
- ・是非、多くの専門職に聞いていただきたいと思いました、
- ・お忙しいところご尽力いただきありがとうございます
- ・医師からの視点だけでなく、看護師や介護職からの視点や施設や病院からの視点など、双方からの視点を聞いてみたいと思いました。
- ・オンラインも便利ですが、同じ地域の仲間ですし、たまにはリアルに集まって話し合いが出来る場を作って頂けると幸いです
- ・とても大切な事例を丁寧に説明いただけました。
- ・計画的に行っておられ またテーマも毎回ニーズに沿っており素晴らしいです。
- ・今後様々な方から症例も伺えるのも良いと思いました。時間の制約はあると思いますが、一方通行にならないので学びが深まると思いました。
- ・所属先の所在地（アンケートで答えるとき）が複数にまたがっているが（志木市・新座市）、1つしか選択できないので1つだけを選んでる。
- ・ありがとうございました
- ・時間の制約もあるなかで、双方向的なやり取りを盛んに行うために、個人情報への壁はありますが、ある程度、事前に事例の概要が共有できる仕組みがあるとよいかと思います。
- ・私たち介護側の職種を尊重し、非常に分かりやすく説明して下さるので、知識向上の目的だけでなく、この仕事を続けていくための励みにもなっています。「人」の感情について真剣に考える機会にもなり、即現場に活かせるアドバイスもありとてもありがたいです。
- ・アーカイブ視聴だったのですが、資料のダウンロードの仕方がわかりませんでした。
→アーカイブ視聴時は、チャットで送られる資料のダウンロードはできませんご了承ください。

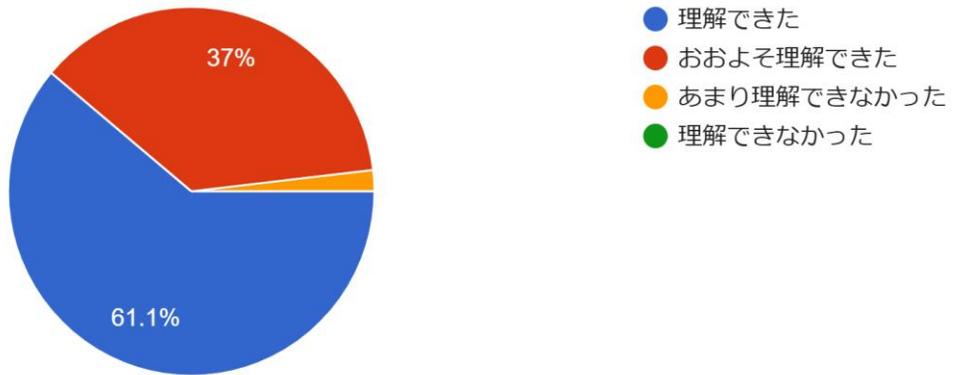
10. 今後、症例検討会で取り上げて欲しいテーマを教えてください。

- ・独居の癌末期のかたについて
- ・定期的に色々な症例検討会をしていただけたらと思います
- ・緩和リハビリテーション
- ・症例を多く聞きたいです
- ・老衰など明確でない疾病の中で看取る事例での問題点など
- ・体験例の振り返りは やはり参考になります。
- ・必要と思われる医療や介護を拒否する人へのアプローチについて
- ・スピリチュアルな苦痛のケアについて事例やうまくいったコミュニケーションなどがあれば聞いてみたいと思いました。
- ・部下への指導や、アドバイスの際、不安を表出する患者への訪問看護において部下自身の精神面が辛くなるという相談を受けます。今回の辛いことを表出させた＝成功といえるという考え方は是非指導の際にも伝えていきたいです。その他にも緩和ケアにおける医療者側の心構えなどがあれば参考にさせていただきたいです。
- ・認知症状や精神疾患などのため、自らの意思表示が難しいかたに対する緩和ケアや終末期の意思決定・支援のありかた。
- ・認知症を持っている方の末期がんの疼痛管理について、症例があればお願いいたします。
- ・どんな症例も参考になります。よろしく願います。

■全体会について

1.全体会の内容について

54件の回答



2.NW規定について、ご意見・要望がありましたらご記入ください。

7件の回答

- ・本当にお疲れ様です。この地域で在宅緩和ケアが一步一步推進しています。有難うございます。
- ・もっと参加者が増えていくといいなと思いました
- ・皆さんの熱意に感謝しています
- ・事前に資料に目を通せたので良かった。自分の所属先との関りについて言及されていたので参考になった。